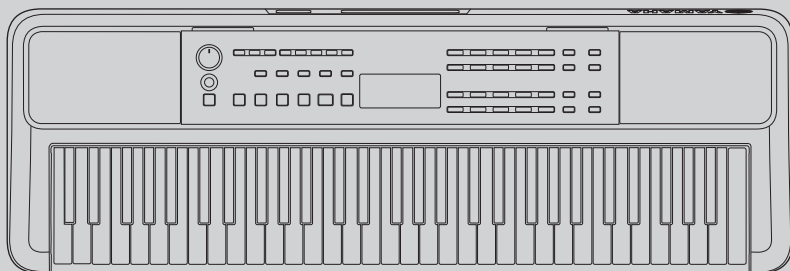


電子キーボード

取扱説明書

PSR-E383



このたびは、ヤマハ電子キーボードをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この楽器は、豊富な音色や内蔵曲などを搭載した、鍵盤楽器が初めての方でも気軽に楽しめる電子キーボードです。本書をよくお読みになって、この楽器に搭載された機能を十分にご活用ください。また、お読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに大切に保管してください。

ご使用の前に必ず 4 ~ 8 ページの「安全上のご注意」をお読みください。

保証書付 裏表紙にあります。

説明書について




この楽器には、以下の説明書が用意されています。

■ 製品に付属

● 取扱説明書(本書)

この楽器の基本的な機能や使い方を説明しています。最初にお読みください。

表記上の決まり

 警告	「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	「傷害を負う可能性が想定される」内容です。
ご注意	「製品の故障、損傷や誤動作、データの損失の発生が想定される」内容です。
 NOTE	知っておくとよい補足情報です。

■ ウェブサイトで提供

● リファレンスマニュアル

この楽器のすべての機能について、詳しく説明しています。

● データリスト

この楽器に搭載している音色、ソング、スタイルなどのリストやMIDIに関する資料を掲載しています。

● スマートデバイス接続マニュアル

楽器をスマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスと接続する方法などを説明しています。

上記説明書やソングブック(下記参照)は、ウェブサイトでご覧いただけます。

<https://manual.yamaha.com/mi/kb-ekb/psr-e383/downloads/>



ソングブック

この楽器に搭載されているソング(デモソングを除く)の楽譜が掲載されています。
無料でダウンロードできますので、演奏するときにぜひご利用ください。



■ 動画マニュアル

この楽器の使い方を説明した動画マニュアルを用意しています。



左のQRコードを読み取れない場合は、下記ウェブサイトアクセスしてください。

<https://manual.yamaha.com/mi/kb-ekb/psr-e383/videos/>

付属品(お確かめください)

- | | |
|--|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 取扱説明書(本書) × 1 | <input type="checkbox"/> 電源アダプター × 1 |
| <input type="checkbox"/> 製品登録のご案内 × 1 | <input type="checkbox"/> 譜面立て × 1 |

もくじ

説明書について	2
付属品(お確かめください)	2
ご使用前の準備	10
電源の準備	10
電源を入れる/切る	11
オートパワーオフ機能	11
譜面立てを使う	11
各部の名称と機能	12
基本操作	16
楽器(音色)、ソング、スタイルを選ぶ	16
テンポを変える	16
いろいろな楽器(音色)で弾く	17
音色(メイン音色)を選ぶ	17
グランドピアノの音で弾く	17
もう1つの音色(デュアル音色)を重ねる	17
左手と右手とで別の音色(スプリット音色)を弾く	18
鍵盤を左右に分けて同じ音域で弾く(デュオ)	18
リズムや自動伴奏を再生しながら演奏する(スタイル)	19
コードを自動再生する(オートコードプレイ)	19
コードを自分で弾きながら演奏する	20
ソング再生機能やレッスン機能を使う	21
デモソングを再生する	21
ソングを再生する	21
鍵盤を弾くタイミングと強さを意識して練習する(リズム&タッチスタディ)	21
レッスン機能を使って練習する	22
自分の演奏を録音する	23
好みの設定を記録させる(レジストレーションメモリー)	23
記録済みのパネル設定を呼び出す	23
パネル設定をレジストレーションメモリーに記録する	23
機能設定	24
バックアップと初期化	28
バックアップされるデータや設定	28
楽器を初期化する	28
困ったときは	28
仕様	29
索引	31

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。



注意喚起を示す記号



禁止を示す記号



行為を指示する記号

■ 「警告」「注意」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を区分して掲載しています。



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

「傷害を負う可能性が想定される」内容です。



警告

電源



禁止

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。

電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



禁止

雷が鳴っているときは、本製品や電源プラグに触らない。

感電の原因になります。



必ず実行

電源は必ず交流100Vを使用する。エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、火災、感電、または故障の原因になります。



必ず実行

電源アダプター / プラグは、必ず付属のものを使用する。また付属の電源アダプター / プラグをほかの機器に使用しない。

火災、やけど、または故障の原因になります。

電源



必ず実行

電源プラグを定期的に確認し、ほこりが付着している場合はきれいに拭き取る。

ショートして火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込む。

差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積したりして火災やけどの原因になります。



必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。

万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。電源を切った状態でも電源プラグをコンセントから抜かないかぎり電源から完全に遮断されません。



禁止

たこ足配線をしなさい。

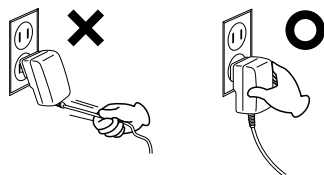
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱したりして火災の原因になります。



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

火災や故障の原因になります。

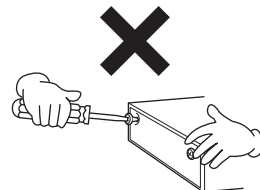
分解禁止



禁止

本製品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。本製品の内部には、お客様が修理や交換できる部品はありません。



水に注意



禁止

- 浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところや水がかかるところで使用しない。
- 本製品の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。
- 電源アダプターは、室内専用のため屋外では使用しない。

内部に水などの液体が入ると、火災や感電、または故障の原因になります。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。

火に注意



禁止

本製品の近くで、火気を使用しない。
火災の原因になります。

電池



禁止

- 電池を火の中に入れてない。
 - 電池を下記の場所に置かない。
 - 直射日光のあたる場所(日中の車内など)や火の近くなど極端に温度が高くなる場所
 - 温度や気圧が極端に低いところ
 - ほこりや湿気の多いところ
- 破裂や爆発により、火災やけがの原因になります。



禁止

- 指定(30ページ)以外の電池を使用しない。
- 電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。
- 種類の異なる電池を一緒に使用しない。
- +/ーの極性表示とは異なった方向に電池を入れない。
- 電池を分解しない。
- 長時間使用しない場合や電池を使い切った場合は、電池を本体に入れたままにしない。
- 使い切りタイプの乾電池は充電しない。

発熱、火災、破裂、爆発、または液漏れによる炎症の原因になります。電池から漏れた液に触れると、失明や化学やけどなどのおそれがあります。また、本体の損傷の原因にもなります。



禁止

電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。

液に触れると失明や化学やけどなどのおそれがあります。万一液が目や口に入ったり皮膚についたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。



必ず実行

充電式電池を使用する場合は、電池のマニュアルの指示に従い、指定された充電器、指定された温度の範囲内で充電する。

誤った充電は、液漏れ、発熱、破裂、故障の原因になります。



必ず実行

電池の取り付け、取り外しについては、本書を必ず読み、記載されている内容に従う。

従わない場合、火災、発熱、破裂、故障の原因になる可能性があります。



禁止

電池は乳幼児の手の届くところに置かない。

お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。



禁止

電池を落としたり、強い衝撃を与えたりしない。

火災、感電、破裂、爆発、故障の原因になります。



必ず実行

電池を意図的にショートさせない。

電池の破裂や液漏れにより、火災やけがの原因になります。



禁止

電池と金属片を一緒にポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。

電池がショートし、破裂や液漏れにより、火災やけがの原因になります。

異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。電池を使用している場合は、電池を本製品から抜く。

- ・電源コード/プラグが破損した場合
- ・製品から異常なおいや煙が出た場合
- ・製品の内部に水や異物が入った場合
- ・使用中に音が出なくなった場合
- ・製品に亀裂、破損がある場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。



注意

設置



禁止

不安定な場所や振動の多い場所に置かない。

本製品が転倒して故障したり、けがをしたりする原因になります。



必ず実行

本製品を移動するときは、必ずすべての接続ケーブルを外した上で行う。

ケーブルをいためたり、お客様やほかの方々が転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

指定のスタンドを使用する。また、付属のネジがある場合は必ずそれを使用する。

本製品が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。

接続



必ず実行

ほかの機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ずすべての機器の音量(ボリューム)を最小にする。

聴覚障害、感電または機器の損傷の原因になります。



必ず実行

演奏を始める前に機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする。

聴覚障害または機器の損傷の原因になります。

取り扱い



禁止

本製品のパネル、鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。

火災、感電、故障や動作不良の原因になります。



禁止

大きな音量で長時間使用しない。聴覚障害の原因になります。特にヘッドホンを使用する場合はご注意ください。万一、聴力低下や耳障りを感じた場合は、専門の医師にご相談ください。



禁止

本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

本体が破損したり、お客様やほかの方々へのけがをきたす原因になります。



必ず実行

本製品のお手入れをするときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電の原因になります。

- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

[Ⓛ](スタンバイ/オン)スイッチを切った状態(画面表示が消えている)でも微電流が流れています。[Ⓛ](スタンバイ/オン)スイッチが切れているときの消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

機種名(品番)、製造番号(シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品の底面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

製造番号

(1003-M06 plate bottom ja 01)

使用上のご注意

「故障、損傷や誤動作、データの損失の発生が想定される」内容です。以下の内容をよく読んでお使いください。

■ 製品の取り扱いに関する注意

- テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。
- スマートフォン、タブレット端末などのスマートデバイスのアプリと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるためスマートデバイスの機内モードをオンしてお使いいただくことをおすすめします。
- 使用環境により、強い電波の影響を受けると、まれに楽器が誤動作することがあります。
- 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなると、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところに置かないでください。本体が変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります(5℃～40℃の範囲で動作することを確認しています)。
- 本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本体が変色/変質する原因になります。
- 本製品に搭載されている液晶画面は精密部品です。指で押すなど、力を加えないようご注意ください。なお、指で押すことにより画面表示が乱れることがあります。しばらくすれば元に戻ります。

■ 製品のお手入れに関する注意

- お手入れの際は、乾いた柔らかい布、または水を含ませた柔らかい布を固くしぼってご使用ください。ベンジンやシンナー、アルコール、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色/変質する原因になりますので、使用しないでください。

■ データの保存に関する注意

- この楽器の一部のデータ(28ページ)は自動的に保存され、電源を切っても消えませんが、ただし保存されたデータは故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なデータは、コンピューターなどの外部機器(15ページ)に保存してください。

お知らせ

■ データの著作権に関するお願い

- この製品に搭載されている「コンテンツ」*1の著作権は、ヤマハ(株)もしくはその著作権者に帰属します。私的使用のための複製など著作権法上認められている場合を除いて、権利者に無断で「複製または転用」*2することは禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いいたします。
なお、製品本来の使用を通して、上記コンテンツを使用した音楽制作や演奏を行い、それらを録音して配布する場合、配布方法が有償、無償を問わずヤマハ(株)の許諾は必要ありません。

*1: 「コンテンツ」には、コンピュータープログラム、サウンドデータ、伴奏スタイルデータ、MIDIデータ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどを含みます。

*2: 「複製または転用」には、この製品に内蔵または同梱されたコンテンツそのものを取り出すこと、もしくは酷似した形態で記録/録音して配布することを含みます。

■ 製品に搭載されている機能/データに関するお知らせ

- 内蔵曲は、曲の長さやイメージが原曲と異なる場合があります。

■ 製品の外観について

- 製品に線やキズが入っているように見える場合があります。これはケースを成型する際に現れる線(ウエルドライン)であり、ヒビやキズではありません。製品の使用上まったく問題ありません。

■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて説明のためのものです。
- QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。
- MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

■ 廃棄に関するお知らせ

- 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。
- 使用済みの電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄してください。

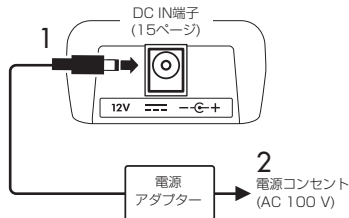
ご使用前の準備

電源の準備

この楽器の電源には、電源アダプターか電池を使用できますが、電源アダプターのご使用をおすすめします。

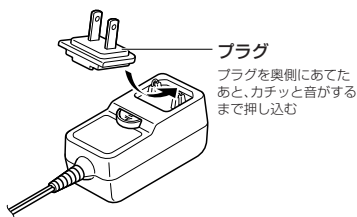
■ 電源アダプターを使う

図の順序で電源アダプターを接続します。



⚠ 警告

- 電源アダプターは、必ず付属または指定のもの(30ページ)をご使用ください。異なった電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねることがございますので、十分にご注意ください。
- プラグが外れるタイプの電源アダプターは、必ずプラグを装着した状態で使用、または保管してください。プラグ部分だけをコンセントに差し込むと、感電や火災の原因になります。
- プラグが外れた場合は、内部の金属部分に触れないよう注意して、カチッと音がするまで押し込んでください。また異物が入らないようにご注意ください。感電やショート、故障の原因になります。



- 本体はコンセントの近くに設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

NOTE

- 電源アダプターを外すときは、電源を切ってから、逆の手順で行ってください。

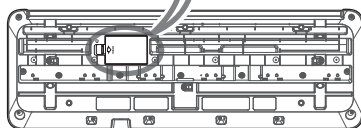
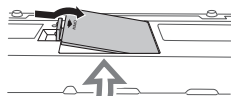
■ 電池を使う

この楽器は、単3形のアルカリ乾電池、マンガン乾電池、充電式ニッケル水素電池(充電電池)を使用できます。ただし、使い方により大きな電力を消費する場合がありますので、アルカリ乾電池または充電電池のご使用をおすすめします。

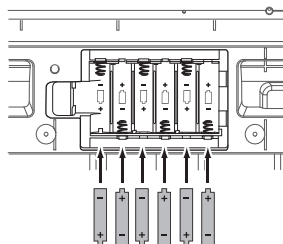
⚠ 警告

- 安全上のご注意の「電池」の注意事項(6ページ)をお読みください。

- 電源が切れていることを確認してください。
- 本体を柔らかい布などの上で裏返し、電池カバーを外します。



- 電池6本を入れます。イラストにに合わせて、向きを間違えないように入れてください。



- 電池カバーを閉めます。
- 楽器の電源を入れたあと、お使いの電池の種類に合わせて、本体の設定を切り替えてください(11ページ)。

ご注意

- 電池がセットされ電源が入っているときに、電源アダプターを抜き差しすると、電源が切れることがあります。電源が切れると録音中や転送中のデータが失われますので、ご注意ください。
- 電池は早めの交換をおすすめします。電池の残量が少なくなると、音量が小さくなったり、音質が劣化したり、正常に動かなくなったりすることがあります。

NOTE

- ・ 充電電池は、必ず専用の充電器で充電してください。この楽器では、充電できません。
- ・ 電池が本体に入っている状態でも、電源アダプターが接続されている場合は、電源アダプターが電源として使われます。

■ 電池の種類を設定する

お使いの電池の種類に合わせて、本体の設定(乾電池または充電電池)を切り替えてください。設定は、電源を入れたあと、機能設定画面(24ページ 機能番号063)で切り替えます。

初期設定 : Alkaline

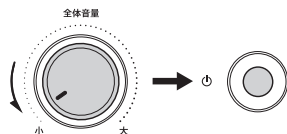
Alkaline	アルカリ乾電池、マンガン乾電池
Ni-MH	充電式ニッケル水素電池(充電電池)

ご注意

- ・ 電池の種類の設定を間違えると、電池の劣化を早め、使用可能時間が短くなります。正しい設定でお使いください。

電源を入れる/切る

1 [全体音量]ダイヤルを左に回し、音量を最小にします。



2 [⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れます。電源が入ると、画面が表示が現れます。

3 鍵盤を弾いて音を出しながら、全体音量を調節します。

4 電源を切るには、もう一度[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを1秒ほど押します。

⚠ 警告

- ・ 電源を切った状態でも微電流が流れています。この楽器を長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

ご注意

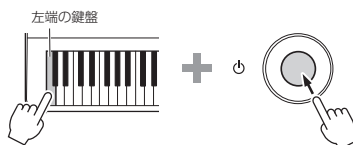
- ・ 電源を入れるときは、[⏻](スタンバイ/オン)スイッチ以外(鍵盤、ボタン、フットスイッチなど)を操作しないでください。楽器が誤動作の原因になります。

オートパワーオフ機能

この楽器は、電源の切り忘れによる無駄な電力消費を防ぐため、楽器を一定時間操作しないと、15分後に自動的に電源が切れます。電源が切れるまでの時間は、機能設定画面(24ページ 機能番号062)で変更できます。

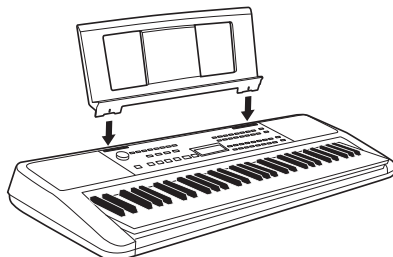
■ オートパワーオフ機能を簡単に解除する

電源を入れるとき、左端の鍵盤を押しながら電源を入れま。画面に「AutoOff Disabled」が表示され、自動では電源が切れなくなります。



譜面立てを使う

譜面立ては本体の溝に差し込んでお使いください。



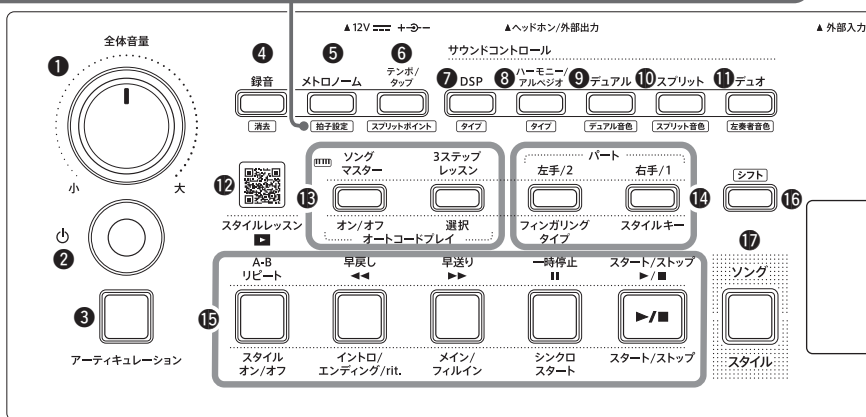
各部の名称と機能

■ フロント(正面)パネル

□ で囲まれたボタン名について ([シフト] ボタン 16 24)

[シフト] ボタンを押したままボタンを操作すると、その枠内に書かれた機能が実行されます。

たとえば、[シフト] ボタンを押したまま [メトロノーム] 5 を押すと、[拍子設定] の画面が表示されます。



* : ヤマハウェブサイト(本書2ページ記載)上の「リファレンスマニュアル」をご覧ください。

① [全体音量]ダイヤル 11ページ
楽器の全体音量を調節します。

② [電源] (スタンバイ/オン)スイッチ 11ページ
電源のスタンバイ/オンを切り替えます。

③ [アーティキュレーション]ボタン 17ページ
演奏音に楽器特有の奏法を再現する効果や音を揺らすような効果をかけます。

④ [録音]ボタン 23ページ
演奏を録音します。

録音したユーザーソングを消去します。

⑤ [メトロノーム]ボタン
メトロノームをスタート/ストップします。

設定画面が表示され、メトロノームの拍子を設定できます。

⑥ [テンポ/タップ]ボタン 16ページ
ソング/スタイル/メトロノームのテンポを設定できます。

設定画面が表示され、スプリットポイントを設定できます。

⑦ [DSP]ボタン
音にデジタル信号処理を施して変化を付ける効果、DSP(デジタルシグナルプロセッサ)のオン/オフを切り替えます。

選択画面が表示され、DSPのタイプを選べます。

⑧ [ハーモニー /アルペジオ]ボタン
鍵盤演奏音にハーモニーなどの効果を付けたり、アルペジオ(分散和音)を鳴らしたりできます。

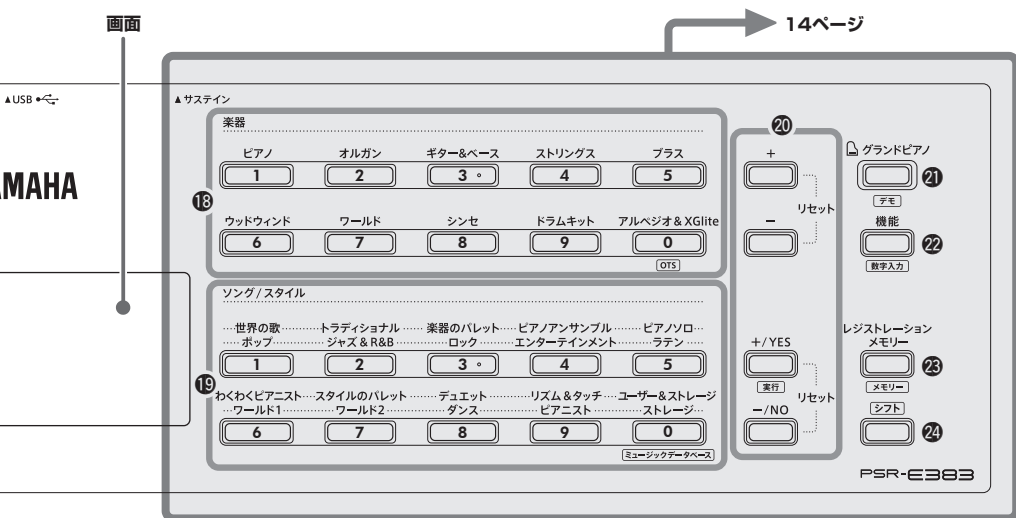
設定画面が表示され、ハーモニータイプやアルペジオタイプを選べます。

⑨ [デュアル]ボタン 17ページ
選択中の音色(メインボイス)に加えて、もう1つ別の音色を重ねて鳴らせます。

設定画面が表示され、重ねる音色(デュアル音色)を選べます。

⑩ [スプリット]ボタン 18ページ
鍵盤全体を左右、2つの領域に分けて、別々の音色で演奏できます。

設定画面が表示され、スプリットポイントより低い(左側の)鍵盤で鳴らす音色(スプリット音色)を選べます。



- ⑪ [デュオ]ボタン 18ページ
鍵盤全体を左右、2つの領域に分けて、2人で同時に同じ音域で演奏できます。

左奏者音色

設定画面が表示され、左奏者側の音色を変更できます。

- ⑫ [スタイルレッスン]動画再生用コード 19ページ
このQRコードをコードリーダーで読み取ると、スタイルを使った演奏方法が分かる動画をご覧いただけます。

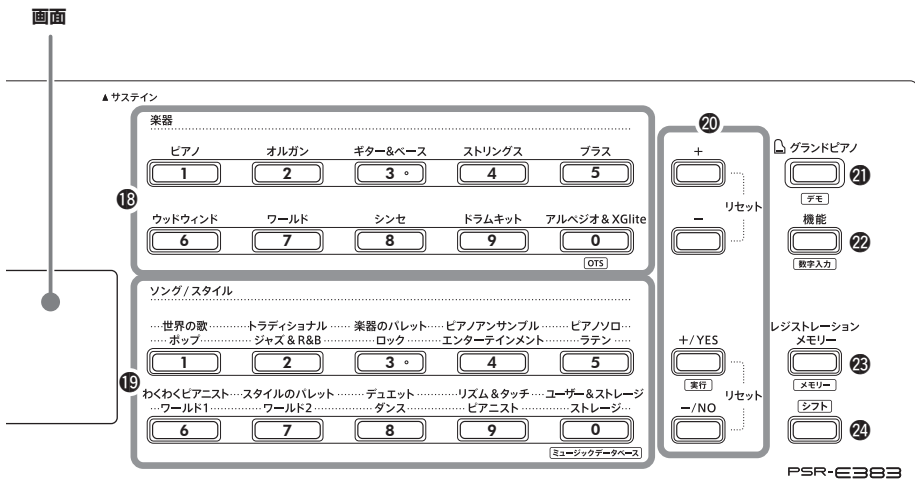
ソングモードのとき

- ⑬ [ソングマスター]、[3ステップレッスン]ボタン 22ページ
1曲を短いフレーズに分けて練習する「ソングマスター」レッスンや「3ステップレッスン」のオン/オフを切り替えたり、「3ステップレッスン」のレッスンモードを選んだりします。
- ⑭ パート[左手/2]、[右手/1]ボタン
選択中のソングのレッスンしたいパートや音を消したいパートを選びます。
- ⑮ ソングコントロールボタン 21ページ
ソング再生をコントロールします。

スタイルモードのとき

- ⑯ オートコードプレイ[オン/オフ]、[選択]ボタン 19ページ
オートコードプレイ機能のオン/オフを切り替えたり、オートコードプレイ機能を使うときのコード進行を選んだりします。
- ⑰ [フィンガリングタイプ]、[スタイルキー]ボタン
スタイルに合わせて演奏するときのコードの弾き方を設定します。
- ⑱ スタイルコントロールボタン 19、20ページ
スタイル再生をコントロールします。
- ⑲ [シフト]ボタン 16、24ページ
主な使い方は、12ページ上部のボックス内の説明をご覧ください。画面表示をホーム画面(16ページ)に戻したい時も、このボタンを押します。
- ⑳ [ソング]/[スタイル]ボタン 16、19、21ページ
ソングモードとスタイルモードを切り替えます。

■ フロント(正面)パネル



* : ヤマハウェブサイト(本書2ページ記載)上の「リファレンスマニュアル」をご覧ください。

18 楽器カテゴリーボタン …… 16、17ページ

お好みの楽器(音色)を選びます。

24 **[シフト]** ボタンを押したまま**22** **[機能]** ボタンを押すと、これらのボタンが数字ボタンとして使えるようになり、音色番号や設定値を数字で入力できるようになります。

[OTS (ワンタッチセッティング)]

選んだスタイルやソング(外部機器から再生したソングを除く)に最適な音色が自動的に選ばれます。

19 ソング/スタイルカテゴリーボタン

…… 16、19、21ページ

お好みのソングやスタイルを選びます。

24 **[シフト]** ボタンを押したまま**22** **[機能]** ボタンを押すと、これらのボタンも**18** **楽器カテゴリーボタン**と同じように、数字ボタンとして使えるようになります。

[ミュージックデータベース]

選んだお好みの音楽ジャンル(ミュージックデータベース)に最適なパネル設定が呼び出されます。

20 [+]/[-]ボタン, [+]/YES]/[-]/NO]ボタン

…… 16、24ページ

項目を選んだり、値を設定したりします。2つのボタンを同時に押すと、初期設定に戻せます(リセット)。

[実行]

操作を実行します。

21 [グランドピアノ]ボタン …… 17ページ

楽器の音色が「Live!コンサートグランドピアノ」(音色番号001)になります。

[デモ (21ページ)]

デモソング(ソング番号001 ~ 003)が順番に連続再生されます。

22 [機能]ボタン …… 24ページ

機能設定画面を表示します。

[数字入力]

18 **楽器カテゴリーボタン**や**19** **ソング/スタイルカテゴリーボタン**が数字ボタンとして使えるようになります。

23 [レジストレーションメモリー]ボタン …… 23ページ

楽器に記憶させたパネル設定を呼び出します。

[メモリー (23ページ)]

お好みのパネル設定を楽器に記憶させます。

24 [シフト]ボタン …… 16、24ページ

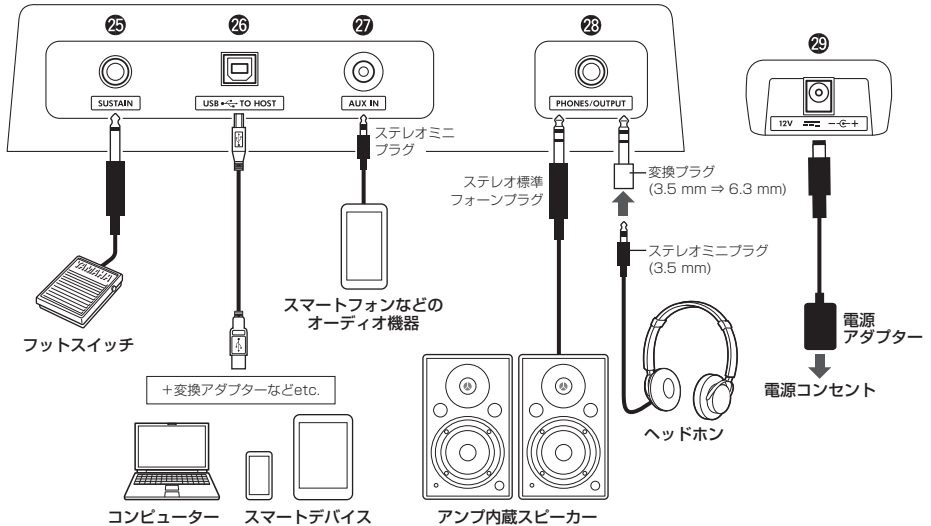
16 **[シフト]** ボタン(13ページ)と同じ使い方です。


主な使い方は、12ページ上部のボックス内の説明をご覧ください。画面表示をホーム画面(16ページ)に戻したい時も、このボタンを押します。


■ リア(背面)パネル

接続する機器により、使用するケーブルは異なります。

接続例





25 ^{サステイン} [SUSTAIN]端子..... 
別売のフットスイッチを接続します。接続したフットスイッチはサステインペダルとして使えます。

26 ^{ユーエスビートゥーホスト} [USB TO HOST]端子..... 
USBケーブルを使ってコンピューターや、タブレットやスマートフォンなどのスマートデバイスを接続します。
楽器とコンピューターとの間でMIDIデータやオーディオデータをやりとりしたり、市販のソングデータを楽器に取り込み、楽器で再生したりできます。また、スマートデバイスアプリを利用して、さまざまな機能を便利に使えるようになります。

ご注意

- USBケーブルは、ABタイプで、3メートル未満のものをご使用ください。USB3.0ケーブルは使用できません。

27 ^{エーユーエックスイン} [AUX IN]端子..... 
スマートフォンなどのオーディオ機器を接続します。楽器本体のスピーカーからオーディオ機器の再生音を鳴らし、再生音に合わせて鍵盤を弾くことができます。

28 ^{フォーンズアウトプット} [PHONES/OUTPUT]端子..... 
ヘッドホンやアンプ内蔵スピーカー、コンピューター、キーボードアンプなどの外部スピーカーを接続します。ヘッドホンや外部機器を接続すると、自動的にこの楽器のスピーカーからは音が出なくなります。

29 ^{DCイン} DC IN端子.....10ページ
電源アダプターを接続します。

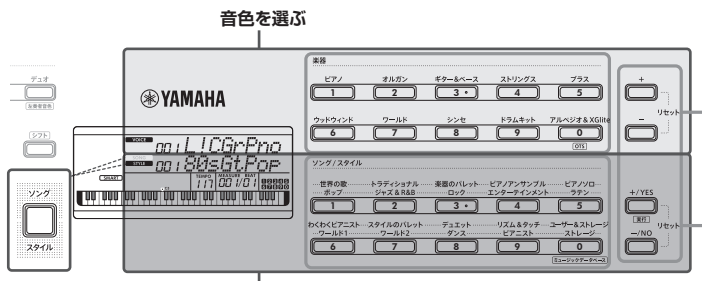
基本操作

楽器(音色)、ソング、スタイルを選ぶ

楽器(音色)、ソング、スタイルは、それぞれのカテゴリボタン(14ページ)を使って選びます。

楽器(音色)：上側の楽器カテゴリボタンで選びます。

ソング、スタイル：[ソング]/[スタイル]ボタンで使いたいモードを選んでから、下側のソング/スタイルカテゴリボタンで選びます。
カテゴリボタンを押すたびに、そのカテゴリ内で音色、ソング、スタイルが番号順に切り替わります。



ソング **SONG**、
スタイル **STYLE**
モードを切り替えます。

ソング/スタイルを選ぶ
上段のボタン名：ソングカテゴリ
下段のボタン名：スタイルカテゴリ

音色は[+]/[-]でも選べます。
ソング/スタイルは[+]/YES/[-]/NO
でも選べます。

画面表示

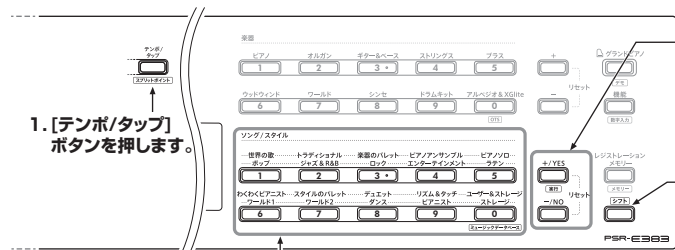


使用中のモード名が表示されます。

ホーム画面へ戻る([シフト]ボタン)

左記のイラストのように、上段に音色名、下段にソングまたはスタイル名が表示された画面を「ホーム画面」と呼びます。機能設定画面(24ページ)のようなホーム画面以外の画面からホーム画面に戻るには、[シフト]ボタンを押します。

テンポを変える



1. [テンポ/タップ] ボタンを押します。

2. ソング/スタイルカテゴリボタンで、お好みのテンポを数値で設定します。

[テンポ/タップ]ボタンを押すと、ソング/スタイルカテゴリボタンを数字ボタンとして使えるようになります。

[+]/YES、[-]/NOボタンでもテンポを設定できます。
[+]/YES、[-]/NOボタンを同時に押すと、初期設定の値に戻せます。

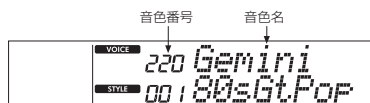
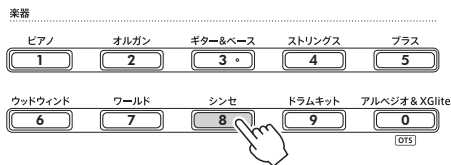
3. [シフト]ボタンを押してテンポ画面を抜けます。

いろいろな楽器(音色)で弾く

音色(メイン音色)を選ぶ

- 1 楽器カテゴリーボタンのうち、弾きたい音色のボタンを押します。

ボタンを押すたびに、カテゴリー内の音色が順番に切り替わります。



- 2 鍵盤を弾いてみましょう。



S.Art Lite音色(スーパーアーティキュレーションライト音色)で演奏する

この楽器に搭載されているS.Art Lite音色を使うと、[アーティキュレーション]ボタンを使って、ギターハーモニクスなど、楽器特有の奏法を再現できます。
→ リファレンスマニュアル(本書2ページ)

グランドピアノの音で弾く

いろいろな設定をリセットし、「ピアノの音で弾きたい」というときは、[グランドピアノ]ボタンを押しましょう。



すべての鍵盤の音色が「Live!コンサートグランドピアノ」(音色番号001)になります。

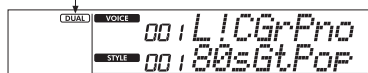
もう1つの音色(デュアル音色)を重ねる

- 1 [デュアル]ボタンを押してデュアル機能をオンにします。

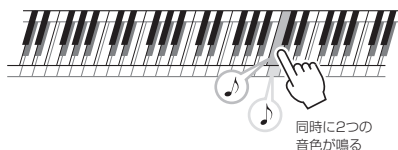
サウンドコントロール



デュアル機能がオンのときに表示



- 2 鍵盤を弾いてみましょう。

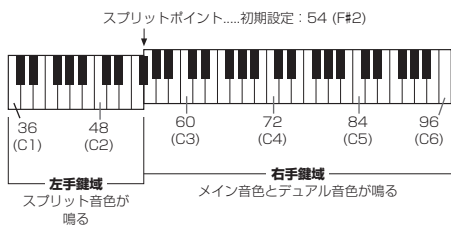


* デュアル音色の変更方法 → リファレンスマニュアル(本書2ページ)

- 3 デュアル機能をオフにするには、もう一度[デュアル]ボタンを押します。

左手と右手で別の音色(スプリット音色)を弾く

鍵盤全体を2つの領域に分けて、左手と右手で違う音色を鳴らせます。



右手鍵域と左手鍵域の境目を「スプリットポイント」と呼び、機能設定画面(24ページ 機能番号003)で変更できます。

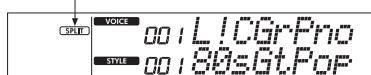
1 [スプリット]ボタンを押してスプリット機能をオンにします。

鍵盤が右手鍵域と左手鍵域に分割されます。

サウンドコントロール



スプリット機能がオンのときに表示



2 鍵盤を弾いてみましょう。



* スプリット音色の変更方法 → リファレンスマニュアル (本書2ページ)

3 スプリット機能をオフにしたい場合は、もう一度[スプリット]ボタンを押します。

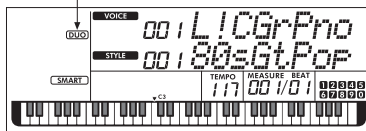
鍵盤を左右に分けて同じ音域で弾く(デュオ)

1 [デュオ]ボタンを押してデュオ機能をオンにします。

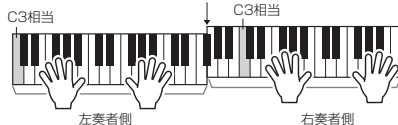
サウンドコントロール



デュオ機能がオンのときに表示



デュオスプリットポイント...初期設定：66 (F#3)



F#3(66)の鍵盤が境目となり、鍵盤が左奏者側と右奏者側に分かれ、同時に2人が同じ音域で演奏できるようになります。

* 左奏者側音色の変更方法 → リファレンスマニュアル (本書2ページ)

2 デュオ機能をオフにしたい場合は、[デュオ]ボタンをもう一度押します。

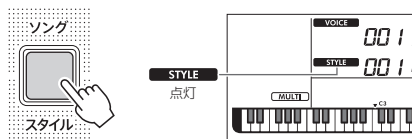
リズムや自動伴奏を再生しながら演奏する(スタイル)

自動伴奏(スタイル)とは、コードに合う伴奏(リズム+ベース音+コード音)を自動で付けてくれる機能です。まずは「オートコードプレイ」でスタイルがどんなものかを体感してみましょう。その後、自分でコードを弾いて演奏してみましょう。また、この楽器では、コードを指一本で弾くか(スマートコード)、コードを構成する音をそのまま弾くか(マルチフィンガー)、の2つの方法から選べます。→ リファレンスマニュアル(本書2ページ)
ここでは指一本での弾き方(スマートコード)で説明します。

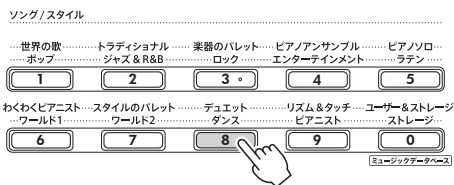
コードを自動再生する(オートコードプレイ)

オートコードプレイは、コードを自分で弾くことなく、コード進行(コードの流れ)を体感できる機能です。弾く鍵盤の位置とコード名が画面に表示されますので、コード進行を覚えたり、伴奏に合わせて右手でメロディーを弾いたりしてみましょう。

- 1 [ソング]/[スタイル]ボタンを押して「STYLE」アイコンを点灯させます。



- 2 スタイルカテゴリボタンを押して、お好みのスタイルを選びます(16ページ)。

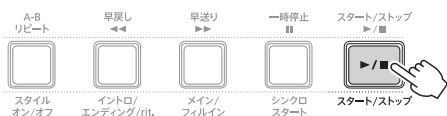


- 3 オートコードプレイ[オン/オフ]ボタンを押して、オートコードプレイをオンにします。



- 4 [スタート/ストップ]ボタンを押します。

コードが自動的に進行し、そのコードに合った伴奏が鳴ります。



- 5 [スタート/ストップ]ボタンを押してスタイルをストップします。

スタイルレッスン(動画)

スタイルの楽しみ方を紹介しています。ぜひご覧ください。



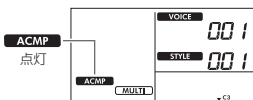
https://yamaha.io/PSR-E383_TUT_ML_JA

コードを自分で弾きながら演奏する

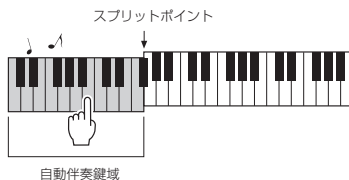
1 「コードを自動再生する(オートコードプレイ)」(19ページ)の手順1、2を行い、お好みのスタイルを選びます。

オートコードプレイがオンの場合は、オートコードプレイ[オン/オフ]ボタンを押してオフにします。

2 [スタイル オン/オフ]ボタンを押して、「ACMP」アイコンを点灯させます。

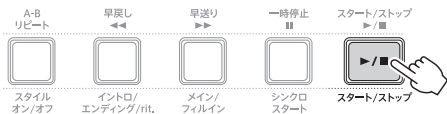


スプリットポイント(54:F#2)より左側の左手鍵域が、コードだけを認識する「自動伴奏鍵域」になります。



3 [スタート/ストップ]ボタンを押します。

リズムパートだけがスタートします。



4 自動伴奏鍵域で、コードのルート音を弾いてみましょう。

リズムパートに加え、ベース音とコード音が鳴ります。左手でいろいろなコードを弾き、右手でメロディーを弾いてみましょう。

5 [スタート/ストップ]ボタンを押してスタイルをストップします。

スタイルに変化をつける

スタイルは、イントロ、メインA/B、フィルイン、エンディングのセクション(伴奏パターン)でできています。セクションを切り替えると、演奏に変化を付けたり、イントロやエンディングを付けたりできます。

→ リファレンスマニュアル(本書2ページ)

ソング再生機能やレッスン機能を使う

デモソングを再生する

[シフト]ボタンを押したまま、[グランドピアノ]ボタンを押します。

デモソング(ソング番号001~003)が順番に連続再生されます。

ストップしたいときは、[シフト]ボタンまたは[スタート/ストップ]ボタンを押します。

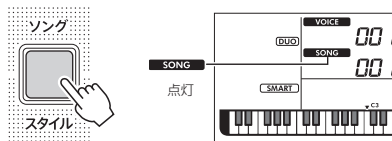


同じ操作でデモソング以外のソングも連続再生できます。

→ リファレンスマニュアル(本書2ページ)

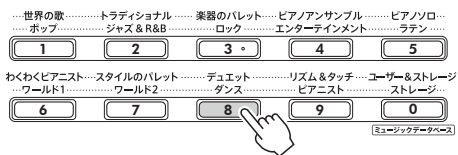
ソングを再生する

- 1 [ソング]/[スタイル]ボタンを押して、「SONG」アイコンを点灯させます。



- 2 ソングカテゴリボタンを押して、お好みのソングを選びます(16ページ)。

ソング/スタイル



- 3 [スタート/ストップ]ボタンを押して、ソングを再生します。

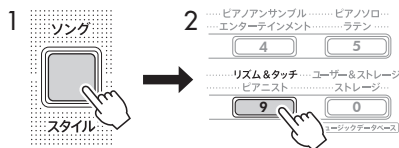
- 4 ソング再生をストップするには[スタート/ストップ]ボタンを押します。

鍵盤を弾くタイミングと強さを意識して練習する (リズム&タッチスタディ)

「リズム&タッチスタディ」カテゴリのソングを再生すると、鍵盤を弾くタイミングと弾く強さ(タッチ)を練習できます。

- 1 [ソング]/[スタイル]ボタンを押して「SONG」アイコンを点灯させます。

- 2 ソングカテゴリボタンのうち、「リズム&タッチ」ボタンを押します。

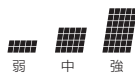


- 3 [スタート/ストップ]ボタンを押して、ソングを再生します。

- 4 画面に表示されるマークの動きに合わせて鍵盤を弾いてみましょう。

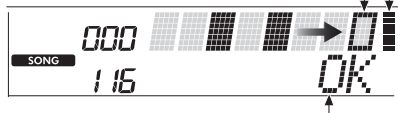
マークは、右に向かって流れてきます。

また、鍵盤を弾く強さ(タッチ)によって大きさの異なる3つのマークが表示されます。流れてくるマークの大きさに合った強さで弾いてみましょう。



鍵盤を弾いた強さはこのメーター表示で分かります。

マークがこの白い四角に重なるときに、強く強さを意識して鍵盤を押します。



強くタイミングのみ合っている場合は「OK」、強くタイミングと強さの両方が合っている場合は「Good!」と表示されます。

鍵盤を弾くタイミングと強さが正しければ、どの鍵盤を弾いてもかまいません。

途中でソング再生をストップしたいときは、[スタート/ストップ]ボタンを押します。

- 5 ソング再生が終わると、練習結果が点数とメッセージで画面に表示されます。

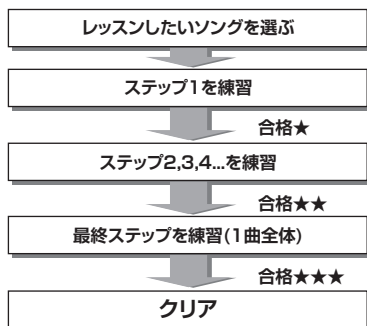
レッスン機能を使って練習する

この楽器に搭載された2つのレッスン機能を紹介します。ソングブック(本書2ページ)に内蔵ソングの楽譜が掲載されていますので、ご活用ください。

* ソングブックのダウンロード方法 → 2ページ

ソングマスター

弾けるようになるためのポイントを取り出して、ひとつずつ楽しく練習していきます。はじめて鍵盤に触れる方におすすめです。



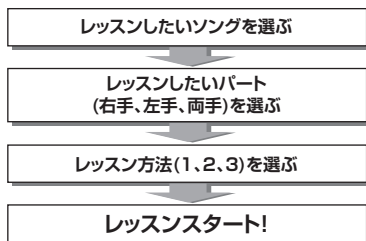
それぞれのソングは、あらかじめいくつかのステップで構成されています。1ステップ弾き終わるごとに採点され、60点以上で合格となり、自動的に次のステップに進みます。

3ステップレッスン(お手本、タイミング、マイペース)

練習したいソングを、右手、左手、両手別にレッスンできます。レッスン方法は3段階です。

レッスンしたいパートを、1曲を通して練習したい方におすすめです。

- **レッスン1(お手本)**..... まずは、お手本を聞くレッスンです。お手本を聞いて音を覚えましょう。
- **レッスン2(タイミング)** タイミングを合わせて鍵盤を弾くレッスンです。タイミングが合っていれば、どの鍵盤を弾いても正しい音が鳴ります。
- **レッスン3(マイペース)**..... 正しい鍵盤を弾くレッスンです。正しい鍵盤を弾くまで曲は進まず待っていてくれます。



ソングマスターと3ステップレッスンを組み合わせて使う

ソングマスターと3ステップレッスンを組み合わせて使うことができます。たとえば、ソングマスターでうまく弾けない部分を、レッスン2(タイミング)を使って練習することで、鍵盤を弾くタイミングを覚えられます。

* ソングマスターと3ステップレッスンを組み合わせて使う方法 → リファレンスマニュアル(本書2ページ)

自分の演奏を録音する

自分の演奏を、ユーザーソング(User1~5：ソング番号126~130)として5曲まで録音できます。録音されたユーザーソングは、内蔵ソングと同様に再生できます(21ページ)。

画面に表示されたユーザーソング以外のユーザーソングを指定して録音したい場合は、[+ /YES]、[- /NO]ボタンを押して指定します。

- 1 [録音]ボタンを押して、録音待機の状態にします。



- 2 鍵盤を弾くか[スタート/ストップ]ボタンを押して録音を開始します。



- 3 [スタート/ストップ]ボタンを押して、録音を終了します。

- 4 [スタート/ストップ]ボタンを押して、録音した曲を再生してみましょう。

あとから録音した曲を再生する場合は、「ソングを再生する」(21ページ)の手順2で[ユーザー & ストレージ]ボタンを押して再生します。

* ユーザーソング削除方法 → リファレンスマニュアル (本書2ページ)

好みの設定を記録させる(レジストレーションメモリー)

この楽器には、お買い上げ時に10個の設定が記録されていますが、お好みの設定を上書きして記録することもできます。

* お買い上げ時の設定の詳細 → リファレンスマニュアル (本書2ページ)

記録済みのパネル設定を呼び出す

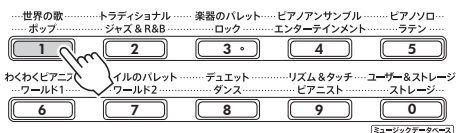
- 1 [レジストレーションメモリー]ボタンを押します。

ソング/スタイルカテゴリボタンを数字ボタンとして使えるようになります。



- 2 呼び出したいパネル設定の番号のソング/スタイルカテゴリボタン1~0(10)を押して、設定を呼び出します。

ソング/スタイル



パネル設定をレジストレーションメモリーに記録する

- 1 パネル設定(音色、スタイルなど)を、記録させたい状態にします。

* 記録される内容 → リファレンスマニュアル(本書2ページ)

- 2 [シフト]ボタンを押したまま、[レジストレーションメモリー]ボタンを押します。

ソング/スタイルカテゴリボタンを数字ボタンとして使えるようになります。



- 3 ソング/スタイルカテゴリボタン1~0(10)のいずれかを押して、現在の設定を保存します。

上書き保存を確認する「Overwrt?」が画面に表示された場合は、[+ /YES]または[- /NO]ボタンを押します。記録が完了すると、画面に「Mem OK」と表示されます。

* レジストレーションメモリー削除方法 → リファレンスマニュアル(本書2ページ)

機能設定

チューニングやスプリットポイント、各音色やエフェクトなどの細かな設定をするのが機能設定です。設定したい項目を、機能リスト(24～27ページ)で見つけてから、下記の操作で設定します。

1 [機能]ボタンを押して、機能設定画面を表示させます。

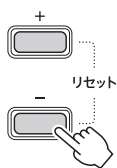
楽器カテゴリーボタン、ソング/スタイルカテゴリーボタンを数字ボタンとして使えるようになります。

グランドピアノ



2 設定したい項目の機能番号、機能名が出るまで、[+]、[-]ボタンを押します。

楽器カテゴリーボタンで機能番号を入力して、設定したい項目の画面を表示することもできます。



3 [+ / YES]、[- / NO]ボタンを押して、値を設定します。

ソング/スタイルカテゴリーボタンで、値を数字で入力して設定することもできます。

[+ / YES]ボタンと[- / NO]ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。



4 機能設定画面から抜けるには、[機能]ボタン、または[シフト]ボタンを押します。

■ 機能リスト

機能番号	設定項目	画面表示	設定値	初期設定	バックアップ対象
楽器全体					
001	トランスポーズ	<i>Transpos</i>	-12 ~ 12	0	
002	チューニング	<i>Tuning</i>	427.0 Hz ~ 453.0 Hz	440.0 Hz	✓
003	スプリットポイント	<i>SplitPnt</i>	36 ~ 96 (C1 ~ C6)	54 (F#2)	✓
004	タッチレスポンス	<i>TouchRes</i>	1: Soft(ソフト) 2: Medium(ミディアム) 3: Hard(ハード) 4: Off(オフ)	2: Medium(ミディアム)	✓
メイン音色					
005	音量	<i>M. Volume</i>	000 ~ 127	*	
006	オクターブ	<i>M. Octave</i>	-2 ~ +2	*	
007	リバーブの深さ	<i>M. Reverb</i>	000 ~ 127	*	
008	コーラスの深さ	<i>M. Chorus</i>	000 ~ 127	*	
デュアル音色					
009	音量	<i>D. Volume</i>	000 ~ 127	*	
010	オクターブ	<i>D. Octave</i>	-2 ~ +2	*	
011	リバーブの深さ	<i>D. Reverb</i>	000 ~ 127	*	
012	コーラスの深さ	<i>D. Chorus</i>	000 ~ 127	*	

機能番号	設定項目	画面表示	設定値	初期設定	バックアップ 対象
スプリット音色					
013	音量	<i>S. Volume</i>	000 ~ 127	*	
014	オクターブ	<i>S. Octave</i>	-2 ~ +2	*	
015	リバーブの深さ	<i>S. Reverb</i>	000 ~ 127	*	
016	コーラスの深さ	<i>S. Chorus</i>	000 ~ 127	*	
スタイル					
017	スタイル音量	<i>StyleVol</i>	000 ~ 127	100	✓
018	フィンガリングタイプ	<i>FingType</i>	1: Smart Chord(スマートコード) 2: Muti Finger(マルチフィンガー)	1: Smart Chord (スマートコード)	✓
019	スタイルキー	<i>StyleKey</i>	FL7 ~ SPO ~ SP7 FL7(フラット7個) : C# major/A# minor SPO(調号なし) : C major/A minor SP7(シャープ7個) : C# major/A# minor	SPO(調号なし): C major/A minor	
020	コード進行	<i>ChdProg.</i>	データリスト(本書2ページ)参照	01	
ソング					
021	ソング音量	<i>SongVol</i>	000 ~ 127	100	✓
022	ソングメロディー音色	<i>MelodyUc</i>	001 ~ 650	**	
エフェクト					
023	リバーブタイプ	<i>Reverb</i>	1 ~ 4: Hall(ホール) 1、2、3、4 5: Cathedral(大聖堂) 6 ~ 9: Room(ルーム) 1、2、3、XG 10 ~ 12: Stage(ステージ) 1、2、XG 13 ~ 15: Plate(プレート) 1、2、XG 16: Off(オフ)	**	
024	リバーブレベル	<i>RevLevel</i>	000 ~ 127	64	
025	コーラスタイプ	<i>Chorus</i>	1 ~ 3: Chorus(コーラス) 1、2、3 4 ~ 5: Flanger(フランジャー) 1、2 6: Flanger(フランジャー) XG 7: Celeste(セレステ) XG 8: Off(オフ)	**	
026	DSPタイプ	<i>DSPType</i>	01 ~ 41	*	
027	パネルサステイン	<i>Sustain</i>	On/Off	Off	✓
028	マスターEQタイプ	<i>MasterEQ</i>	1: Standard(スタンダード) 2: Boost(ブースト) 3: Piano(ピアノ) 4: Bright(ブライト) 5: Mild(マイルド)	1: Standard (スタンダード)	✓

機能番号	設定項目	画面表示	設定値	初期設定	バックアップ 対象
ハーモニー / アルペジオ					
029	ハーモニータイプ/アルペジオタイプ	<i>Harm/Arp</i>	001 ~ 026 (ハーモニー) 027 ~ 178 (アルペジオ)	*	
030	ハーモニー音量	<i>HarmVol</i>	000 ~ 127	*	
031	アルペジオ ベロシティ	<i>ArpVelo</i>	1: Original(オリジナル) 2: Key(キー)	**	
032	アルペジオ クオンタイズ	<i>Quantize</i>	1: Off(オフ) 2: 1/4 3: 1/8 4: 1/16	**	
ペダル					
033	ペダル機能	<i>PdFunc</i>	1: Sustain(サステイン) 2: Arpeggio Hold(アルペジオホールド) 3: Sustain+Arpeggio Hold (サステイン+アルペジオホールド) 4: Articulation(アーティキュレーション)	1: Sustain (サステイン)	
メトロノーム					
034	拍子(分子)	<i>TimeSigM</i>	00 ~ 60	**	
035	拍子(分母)	<i>TimeSigD</i>	2(2分音符) 4(4分音符) 8(8分音符) 16(16分音符)	**	
036	メトロノーム音量	<i>MetroVol</i>	000 ~ 127	100	✓
レッスン					
037	レッスンの右手パート	<i>R-Part</i>	1 ~ 16	1	
038	レッスンの左手パート	<i>L-Part</i>	1 ~ 16	2	
039	ユアテンポ	<i>YourTemp</i>	On/Off	On	✓
040	ガイド音	<i>Guide</i>	On/Off	On	✓
MIDI					
041	ローカルコントロール	<i>Local</i>	On/Off	On	
042	外部クロック	<i>ExtClock</i>	On/Off	Off	
043	イニシャルセンド	<i>InitSend</i>	YES/NO	-	
オーディオ					
044	[AUX IN]オーディオ入力音量	<i>AuxInVol</i>	000 ~ 127	50	✓
045	[USB TO HOST]オーディオ入力 音量	<i>USBInVol</i>	000 ~ 127	100	✓
046	オーディオループバック	<i>Loopback</i>	On/Off	On	✓
047	メロディーキャンセル	<i>MelodySP</i>	On/Off	Off	
048	メロディーキャンセルパン	<i>SupprPan</i>	L63 ~ C ~ R63	C	

機能番号	設定項目	画面表示	設定値	初期設定	バックアップ 対象
レジストフリーズ					
049	スタイルフリーズ	<i>StyleFrz</i>	On/Off	Off	✓
050	トランスポーズフリーズ	<i>TransFrz</i>	On/Off	Off	✓
051	音色フリーズ	<i>VoiceFrz</i>	On/Off	Off	✓
デュオ					
052	デュオスプリットポイント	<i>DuoPnt</i>	36 ~ 96 (C1 ~ C6)	66 (F#3)	
053	デュオ右鍵域音量	<i>DuoRVol</i>	000 ~ 127	*	
054	デュオ左鍵域音量	<i>DuoLVol</i>	000 ~ 127	*	
055	デュオ右鍵域オクターブ	<i>DuoROct</i>	-3 ~ +3	*	
056	デュオ左鍵域オクターブ	<i>DuoLOct</i>	-3 ~ +3	*	
057	デュオタイプ	<i>DuoType</i>	1: Balance(バランス) 2: Separate(セパレート)	2: Separate (セパレート)	
ストレージ					
058	ストレージモード	<i>Storage</i>	On/Off	Off	
スタイルファイルの登録					
059	スタイルの登録	<i>StyleRes</i>	001 ~ nnn	-	
デモ					
060	デモグループ	<i>DemoGrp</i>	1: Demo(デモ) 2: Preset(プリセット) 3: User(ユーザー) 4: Storage(ストレージ)	1: Demo(デモ)	✓
061	プレイモード	<i>PlayMode</i>	1: Normal(ノーマル) 2: Random(ランダム)	1: Normal (ノーマル)	✓
電源					
062	オートパワーオフ	<i>AutoOff</i>	Disabled(無効)、 5/10/15/30/60/120分	15(分)	✓
063	バッテリー選択	<i>Battery</i>	1: Alkaline(アルカリ乾電池、マンガン 乾電池) 2: Ni-MH(充電式ニッケル水素電池)	1: Alkaline (アルカリ乾電池、 マンガン乾電池)	✓

* 音色の組み合わせごとに最適な設定値になっています。

** 現在選ばれている「ソング」「スタイル」「アルペジオ」ごとに最適な設定値になっています。

バックアップと初期化

バックアップされるデータや設定

以下のデータや設定は、自動的にバックアップされるため、電源を切っても消えません。

随時バックアップされる内容

- ユーザーソング(23ページ)
 - スタイル番号261～270に登録されたスタイルファイル
- * スタイルファイル登録方法 → リファレンスマニュアル

電源を切ったときにバックアップされる内容

- レジストレーションメモリー(23ページ)
 - 機能設定の各設定
- 機能リスト(24～27ページ)の「バックアップ対象」列にチェックマークが入っている設定がバックアップされます。
- ソングマスターの合格結果 → リファレンスマニュアル(本書2ページ)

楽器を初期化する

バックアップデータなどを消去し、設定を工場出荷時の状態に戻すことを「初期化」と呼びます。

■バックアップクリア

バックアップされたデータや設定を初期設定に戻します。鍵盤の最高音(白鍵)を押したまま、**[⏻]**(スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れます。



コンピューターやスマートデバイスから転送したソング、スタイルの全データ(スタイル番号261～270に登録されたデータを除く)を消去する方法もあります。
→ リファレンスマニュアル(本書2ページ)

困ったときは

現象	原因と解決方法
同時に押さえた鍵盤の音で、鳴らない音がある。または、鍵盤演奏すると、スタイルやソングの演奏音、メトロノームが途中で途切れる。	この楽器の最大同時発音数(48音)を超えています。デュアルボイスやスプリットボイス、スタイルやソング、メトロノームなどを含めて最大48音の範囲で鳴らすことができます。48音以上の発音情報があった場合、発音中のいずれかの音が消えてしまいます。
押さえる鍵盤によって、音質や音量が異なる。	故障ではありません。この楽器で採用しているAWM音源方式では、リアルな楽器表現を可能にするために、鍵盤をいくつかにわけて楽器の音をサンプリングする「マルチサンプリング」という方式をとっています。これらの音色は、音域によって音質や音量が若干異なる場合があります。
電源が勝手に切れる。	故障ではありません。オートパワーオフ機能(11ページ)が働いたためです。
[⏻] (スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れたとき、電源がすぐに切れる。	過電圧保護機能が働いたためです。指定以外の電源アダプターを使用しているか、電源アダプターが壊れている可能性があります。電源アダプターは必ず指定のもの(30ページ)をご使用ください。電源アダプターが壊れている可能性がある場合は、使用を中止し、お買い上げ店、または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。
スマートデバイスのアプリケーションが楽器を認識しない。	ストレージモードがオン(On)に設定されていませんか。機能設定画面(24ページ 機能番号058)でストレージモードをオフ(Off)にしてください。

下記ウェブサイトの「よくあるお問い合わせ(Q&A)」もご確認ください。
それでも解決しない場合は、「電子ピアノ・キーボードご相談窓口」(34ページ)へお問い合わせください。



<https://yamaha.io/faq-jp-pk>


仕様

品名			電子キーボード
サイズ/質量	寸法	幅×高さ×奥行き	941 mm × 105 mm × 317 mm
	質量		4.4 kg (電池含まず)
操作子	鍵盤	鍵盤数	61
		タッチレスポンス	ソフト、ミディアム、ハード、オフ
	ディスプレイ	タイプ	液晶
		バックライト	○
		言語	英語
パネル	言語	日本語	
音源	音源方式		AWMステレオサンプリング
	最大同時発音数		48
	プリセット	音色数	650 (258/パネル音色+25ドラム/SFXキット+20アルペジオ音色+347XGlite音色)
	対応フォーマット		GM/XGlite
効果	タイプ	リバーブ	15
		コーラス	7
		DSP	41
		マスター EQ	5
	ファンクション	デュアル	○
		スプリット	○
		デュオ	○
		パネルサステイン	○
		アルペジオ	152
		ハーモニー	26
		メロディーキャンセル	○
アーティキュレーション	○ (12スーパーアーティキュレーションライト音色)		
伴奏スタイル	プリセットスタイル数		260
	フィンガリング		スマートコード、マルチフィンガー
	スタイルコントロール		スタイルオン/オフ、シンクロスタート、スタート/ストップ、イントロ/エンディング/リタルダント、メイン/フィルイン
	外部スタイル		10
	その他特長	ミュージックデータベース	200
		ワンタッチセッティング (OTS)	○
		オートコードプレイ	50 コード進行
対応フォーマット		スタイルファイルフォーマット (SFF)	
録音/再生 (MIDIソング) * オーディオファイル 非対応	プリセット	内蔵曲数	125
		曲数	5
	録音	トラック数	2
		データ容量	約10,000音符
	対応フォーマット	再生	SMF (フォーマット0、フォーマット1)
録音		オリジナルフォーマット	

ファンクション	レジストレーション メモリー	メモリー数	10	
	レッスン	ソングマスター、3ステップ レッスン(お手本、タイミング、マイベース)、A-Bリピート、リズム&タッチスタディ		
	デモ	○		
	USBオーディオ(USB TO HOST)	44.1 kHz、16 bit、ステレオ		
	全体設定	メトロノーム	○	
		テンポ	11 ~ 280	
		トランスポーズ	-12 ~ 0 ~ +12	
チューニング	427.0 ~ 440.0 ~ 453.0 Hz (約0.2 Hz単位)			
その他	ピアノボタン	○		
メモリー / 接続端子	メモリー	内蔵メモリー	約1.4 MB	
	接続端子	DC IN	12 V	
		ヘッドホン/外部出力	ステレオ標準フォーン端子(ヘッドホン/OUTPUT兼用)	
		サステインペダル	○	
		AUX IN	ステレオミニ端子	
		USB TO HOST	○ (MIDI/オーディオ)	
音響	アンプ出力	2.5 W × 2		
	スピーカー	12 cm × 2		
電源部	電源	電源アダプター	PA-130C、またはヤマハ推奨の同等品 (出力：DC 12 V、0.7 A)	
		電池	単3電池(アルカリ乾電池/マンガン乾電池/充電式ニッケル水素電池)×6(別売)	
	消費電力	5 W (電源アダプター PA-130C使用時)		
	電池寿命	アルカリ乾電池：約11時間 充電池：約10.5時間		
	オートパワーオフ	○		
付属品	<ul style="list-style-type: none"> 取扱説明書 製品登録のご案内 譜面立て 電源アダプター (PA-130Cまたはヤマハ推奨の同等品) 			
別売品	<ul style="list-style-type: none"> ヘッドホン：HPH-150、HPH-100、HPH-50 フットスイッチ：FC4A、FC5 電源アダプター (PA-3Cまたはヤマハ推奨の同等品) キーボードスタンド：L-2L、L-2C ソフトケース：SC-KB630 			

※ 本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

索引

- 3**
3ステップレッスン 22
- A**
ACMP 20
AUX IN 15
- ア**
アーティキュレーション 17
アルペジオ 26
- オ**
オートコードプレイ 19
オートパワーオフ 11
音色(楽器) 16, 17
音量 11, 12
- カ**
楽器(音色) 16, 17
乾電池→電池 10, 11
- キ**
機能設定 24
- ク**
グランドピアノ 17
- コ**
コーラスタイプ 25
困ったときは 28
コンピューター 15
- サ**
サステイン 15
- シ**
自動伴奏 19
自動伴奏鍵域 20
シフト 12, 16
仕様 29
初期化 28
- ス**
スタイル 16, 19, 25
スプリット 18
スプリット音色 18, 25
スプリットポイント 18, 20, 24
スマートコード 19
スマートデバイス 15
スマートデバイス接続マニュアル 2
- セ**
全体音量 11, 12
- ソ**
ソング 16, 21, 25
ソングブック 2
ソングマスター 22
- タ**
タッチレスポンス 24
- チ**
チューニング 24
- テ**
データリスト 2
デモソング 21
デュアル 17
デュアル音色 17, 24
デュオ 18, 27
デュオスプリットポイント 18, 27
電源 10, 11
電源アダプター 10
電池 10, 11
テンポ 16
- ト**
トランスポーズ 24
- ハ**
ハーモニー 26
バックアップ 28
- フ**
付属品 2
譜面立て 11
- ヘ**
ヘッドホン 15
- ホ**
ホーム画面 16
- マ**
マスター EQ 25
マルチフィンガー 19
- メ**
メイン音色 17, 24
メトロノーム 12, 26
- ユ**
ユーザーソング 23
- リ**
リズム&タッチスタディ 21
リバーブタイプ 25
リファレンスマニュアル() 2
- レ**
レジストレーションメモリー 23
レッスン 22
- ロ**
録音 23

オープンソースソフトウェアのご案内

本製品のファームウェアにはオープンソースソフトウェアが含まれています。
各オープンソースソフトウェアの著作権情報と使用条件は、下記ウェブサイトの「資料/データ」から確認できます。

サポート・お問い合わせ

<https://jp.yamaha.com/support/>

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げの販売店、またはヤマハ修理ご相談センターへご連絡ください。

● 保証書

本書には保証書が掲載されています。

「販売店印・お買い上げ日」が記入されている場合は、記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。

記入されていない場合は、購入を証明する書類(領収書、納品書など)とあわせて、大切に保管してください。

● 保証期間

保証書をご覧ください。

● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

有寿命部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げの販売店、またはヤマハ修理ご相談センターにご相談ください。

有寿命部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、ドラムパッドなど

● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造終了後8年です。

● 修理のご依頼

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、またはヤマハ修理ご相談センターへご連絡ください。

● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

◆ 修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター



ナビダイヤル(全国共通番号)

0570-012-808

ナビダイヤル®

※固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。

通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は **053-460-4830** へおかけください。

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00 (土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

FAX 東日本(北海道/東北/関東/甲信越/東海) 03-5762-2125

西日本(北陸/近畿/中国/四国/九州/沖縄) 06-6649-9340

◆ 修理品お持込み窓口

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00 (土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

*お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1 JMT 京浜E棟5F FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター

〒556-0011 大阪府浪速区難波中1丁目13-17 ナンバ辻本ビル7F FAX 06-6649-9340

※名称、住所、電話番号、営業時間などは変更になる場合があります。

本製品の仕様や取り扱いに関するお問い合わせ

ご購入の特約店または下記ヤマハお客様コミュニケーションセンターへお問い合わせください。

お客様コミュニケーションセンター 電子ピアノ・キーボードご相談窓口



ナビダイヤル(全国共通番号)

0570-006-808

ナビダイヤル® ※固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。

通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は **053-460-5272** へおかけください。

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00 (土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

<https://jp.yamaha.com/support/>

◆ ウェブサイトのご案内

- ・ヤマハ株式会社のホームページ <https://jp.yamaha.com/>
- ・ヤマハ エレクトーン・キーボードサイト <https://jp.yamaha.com/kbd/>
- ・ヤマハ サポート・お問い合わせ <https://jp.yamaha.com/support/>
- ・ヤマハミュージックデータショップ <https://yamahamusicdata.jp/>

ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中央区中沢町10-1

※ 都合により、住所、電話番号、名称、営業時間などが変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。



[持込修理用]

ヤマハ 電子キーボード保証書

MODEL PSR-E383

この度はヤマハ 電子キーボードをお買い上げいただきましてありがとうございました。
本書は下記の保証規定により無料修理を行なうことをお約束するものです。
お買い上げの日から右記期間中に万一故障が発生した場合は製品に本書を添えて
お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

ご住所	□□□□ - □□□□□
電話	— —
お名前	殿

* この保証書にご記入いただきましたお客様のお名前、ご住所などの情報は、
本保証規定に基づく無料修理に関する場合のみ使用いたします。

修理ご相談センター  0570-012-808
ナビダイヤル。*一般電話、公家電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

※上記番号でつながらない場合は 053-460-4830 へおかけください。
受付時間: 月～金 10:00～17:00 (土日・祝日・センター指定休日を除く)

製造番号		
お買い上げ日	年	月 日
保証期間	本体 電源アダプター	お買い上げの日から一年間
販売店名		
(所在地)		
(電話)	(扱者名)	

株式会社ヤマハミュージックジャパン

〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11

保証規定

保証期間中、正常なご使用状態のもとで万一発生した故障につきましては、無料修理致します。

●保証書のご使用方法

○保証期間内に万一本製品が故障した場合には、お買い上げの販売店
にご依頼の上、修理に際して本書をご提示ください。

●保証期間中でも次の場合は有料となります。

- 納品後、輸送・移動時のお取扱いが適当でないために生じた故障・
損害の場合。
- 取扱説明書に記載の注意事項に反するお取扱いによって発生した故
障の場合。
- 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
- 塗装面及び金属面が経年変化により退色、変色した場合。
- 弊社関係のサービスマン以外の方が修理・改造された部分で、
その修理改造が不適當であった場合。
- 火災・地震・水害・落雷、その他の天災及び公害や電圧異状による
故障、損傷の場合。
- 鼠害、塩害等による故障、損傷の場合。
- 本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合。
あるいは字句を書き替えられた場合。
- 本書のない場合。又、ご提示のない場合。
- お客様のご要望により出張修理を行なう場合の出張料金。

●転居の場合等

- 転居、ご贈答品等で、本書に記入してあるお買い上げ販売店に修理
をご依頼できない場合には、ヤマハ修理ご相談センターにご相談くださ
い。
- 離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理を行なった場合には、出
張に要する実費を申し受けます。
- 保証期間内に、本製品を他人に譲渡あるいは転売された場合に於
ても、残存期間は保証致します。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only within Japan.)
- 保証期間の1年が過ぎましても、サービスは有料にて責任を持って実
施させていただきます。
- 本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約
束するものです。

従って本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません
ので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げ
の販売店もしくはヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。

© 2024 Yamaha Corporation

2024年2月発行 IPTY-B0



VHP4510